|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 同時代のつながり④ |  | ◎流れ図を見る視点 【教科書p.135～143】  １．中国が漢人により再統一され，その影響が周辺諸国に及ぶ過程を みてみよう。  ２．中国と周辺諸国，特にアジア海域のようすを確認しよう。 |
| ● 明の国際秩序と東・東南アジア | |

部分サンプル　※本資料はサンプルのため、内容が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **中　　国** | **モンゴル・朝鮮** | | **東南アジア** | **琉　球** | **日　本** |
| 14世紀 | 1351～66① 　　　　の乱　拡大  明 [1368～1644] 指導者の一人  【② 　　　　　】（太祖，洪武帝）  ③ 　　　　を都とする  皇帝親政の開始─④ 　　　　廃止  海禁  モンゴル帝国の継承＋中国の農村社会 | 北元  ［1368～88］  ［1392～1910］ マラッカ海峡 | 高麗  ［918～1392］  都：開城  朝鮮（李氏朝鮮) | タイ  アユタヤ朝  ［1351～1767］  ⇨南下  上座仏教広まる |  | 鎌倉時代  ［1185（1192）  ～1333］  室町時代  ［1338～1573］  倭寇始まる  （前期倭寇） |
| 15世紀 | 【⑤ 　　　 】… ⑥  を起こし，即位  1405～33 ⑦ 　　　　の南海遠征  1410～24 モンゴル遠征  1421 ⑧ 　　　　へ遷都  万里の長城修築  北虜南倭の活発化（オイラト・モンゴル（韃靼）・倭寇の侵入） | オイラト部  1449  エセン  土木の変 | 【⑬　　　 】  創建  ●明の冊封を受ける  ［1428～1527，  1532～1789］ | マラッカ王国  ［14世紀末～1511］  貿易ネットワークの中心  イスラーム広まる  ベトナム  黎朝 | 琉球王国  ［15世紀～1879］  ●明の冊封 を受ける  ●東・東南ア ジアの交易 センター | 【⑯　　　　】  が明の冊封を  受け，  ⑰  （朝貢貿易 ）を  開始 |
| 16世紀 | ⑨ 　　　　　の改革  … 検地・一条鞭法の全国的施行  侵入を繰り返す  南方で私貿易・海賊活動  （後期倭寇） | モンゴル（韃靼）部  アルタン  チベット仏教  に帰依 | 1592～93，  97～98  ⑭ | 明の制度などを導入  南進政策 |  | 安土桃山時代  ［1573～1603］  【織田信長】  【豊臣秀吉】の  朝鮮出兵 |
| 17世紀 | 後金［1616～36］  【⑩ 　　　　　】建国  重税・天災→農村疲弊→暴動・反乱  清［1636改称］  【⑪　　　　　　　　 】  … 内モンゴル平定  モンゴル大ハーンの地位  1644 滅亡，農民反乱の指導者  ⑫ 　　　　により北京陥落  清［1636～1912］  チベット仏教の保護者の地位  北京に遷都 → ⑫軍や明の残存勢力平定  モンゴル大ハーン ＋ 中華皇帝の地位  幕府による貿易の管理 | チベット仏教  ⑮  の権威 | 1607～1811  ●朝鮮通信使  の派遣  1637  ●清の属国と  なる |  |  | 江戸時代  ［1603～1867］  【徳川家康】  ⑱  貿易  ポルトガル･オラ  ンダによる中継  貿易  1635  日本人の海外 渡航・帰国禁止  1641  オランダ商館を  出島に移す |